

あじさいワーク 二年 ①

(二年 くみ)

1 ひらがなをかたかなになおして書きましょう。

① さっかあ	
② しゃわあ	
③ しんばる	
④ まらかす	

2 ひらがなをかたかな字になおして書きましょう。

① きゆう 食当しょくどう ばん になる。

② 弓ゆみ や で、かりをする。

③ ひなひなさんは、 しん 切だ。せつ

3 文の中のひつようなどところに点(・)丸(○) かぎ(「」)をつけましょう。

と	は		
き		ぼ	ゆ
き	だ	く	う
ま	れ	を	く
し	な	よ	ん
た	の	ん	は
。		だ	、
		の	

4 文を読んで答えましょう。

水ぞくかんには、いろいろな生きものがいて、ぼくはびっくりしました。青色のゼリーのようなくらげ。ぬいぐるみみたいにかわいいラッコ。チョコレートみたいな岩からつぎつぎと水にとびこむペンギンたち。

つぎのものは、なににたとえられていますか。

① くらげ	
② ラッコ	
③ 岩	

5 えを見て、「ーと」をつかった文を書きましょう。

① ↓

② ↓

あじさいワーク 二年②

(二年 くみ)

1 □に入ることばを書きましょう。

- だれが どうした
- うさぎさんが言いました。
- だれは どうした
- かめさんは、まどからのぞきました。
- 何が どうする
- お手紙が来る。

① 「だれが(は)」「何が(は)」に
当たることばを

② 「どうした(どうする)」に
当たることばを
といています。

2 ぶんしょうを読んでこたえましょう。

わたしは、一年生のとき、友だちとボールをとり合って、よくけんかをしていました。でも、いまではボールをなかくつかえるようになりました。なぜかというと、こうたいでつかったり、じゃんけんできめたりしているからです。

① ボールをなかく使えるようになった
わけをかきましょう。

(わけ)

3 ()に入る言葉に○をつけましょう。

まず、画用紙を半分におって、おったほうから切りこみを二本入れます。
()、切ったところをおります。
はんたいがわも同じようにあります。

ア・また イ・つぎに ウ・だから

4 ゆうすけさんが書いたうんどう会の作文を読んで、こたえましょう。

ア()	五月三十日に、楽しみにしていたうんどう会がありました。
イ()	ぼくが、がんばったのは、たんきより走でした。スタートの合図を聞いて、おちゅうで走りました。すると、一番でゴールできました。そのあと、お友だちに ゆうすけくん、はやかったね。 と言われて、うれしかったです。
ウ()	運動会では、ほかにもたくさんいい思い出ができました。三年生でもがんばりたいです。

① ゆうすけさんは、作文をア・イ・ウの三つにわけて考えました。ア・イ・ウに入ることばを書きましょう。

- ア ()
- イ ()
- ウ ()

② イの文の中に、かぎ(「」)を書き入れ
ましょう。

① ⑤ □に入ることばを書きましょう。
おはなしの中に出てくる人を

といています。

② おはなしの中に出てくる人がしたこと
やできごとを中心にお話をみじかくまと
めたものを

といています。